

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いずみ園		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 22日		～ 2024年 11月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	2024年10月22日		～ 2024年11月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児2人：保育士1人の体制で児一人一人の思いに寄り添った保育・療育を実践している。	・児の様子を朝会や会議等で職員が共有している。 ・年齢の幅があるので発達年齢も加味して2グループに分けて発達に即した活動を保障している。	・友だちとの関わり等自ら主体的に行動できるよう、見守ることの大切さを確認。
2	・週1回の親子保育、年間を通して保育参観や保護者との個別懇談を行い子どもとの向き合い方を見て学んだり助言をしたり、保護者同士の交流の場を持ったり、個別懇談では兄弟・家族のことも含めて親の思いに耳を傾けている。	・保護者との懇談は集団でも行っているが、個別懇談では全員の保護者の思いが聞き取れるように“1人月1回”を目指している。	・研修や学習会に参加したり自ら学び一人ひとりがスキルアップを図る。
3	・友だちと一緒に過ごし色々な体験をしたり、いや、やりたくない思いにも共感したりして通所を楽しみにしている子どもも多い。	・乳幼児期は人生の基盤を築く時期と捉え色々な体験を友だちとの関わりの中で体験して積み重ねていく。	・設定保育の充実。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・一概に弱みだとは思いませんが利用時間が9:30～15:30の6時間なので長時間の就労を考えていたり家庭での保育が大変な保護者の方には利用しにくい。	・子どもにとってはちょうどよい時間だと思っている。が、ここ数年、年度末の会議に上がり検討はしてきた。私たち職員はまず子どもの立場に立つことを優先してきた。しかし近年は利用を諦める方もいる。	・来年度からの利用時間について保護者にアンケートをお願いする。その結果を踏まえて職員間で検討する。
2	・園庭が狭い。	・国の基準は満たしている 戸外遊びで気分転換したり、身近な生き物や草花は素晴らしい教材だと捉えている。現実的には土地と資金の問題。	・近所を散歩して近所の方とあいさつしたり近くの数か所の公園に出かけたりしている。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 いずみ園

公表日 2025 年 1 月 14 日

II

利用児童数 15名

回収数 13名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	3	0	1	・少し狭い	2つにグループ分けしたり仕切りの扉を開いて広く使える工夫をしています。戸外にも出かけ広々とした空間で子どもたちの要求に答えています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1	0	0	・職員の人数が多いので安心感がある。	子どもの思いを大切に丁寧な関わりを行うため2対1の保育士を配置しています。学習会・研修会に参加して資質の向上に努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2	1	1		遊び・食事・午睡等の部屋を替えてすごやすくしています。園での生活に慣れて自分の思い・意思で生き生きと安全に過ごすことを大切にしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	2	0	0		毎日の掃除、おもちゃの消毒をはじめ園庭・砂場の消毒、環境整備（大掃除）を実施しています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	0		毎日の朝会では個々の子どもの様子を出し合い保育や支援計画に反映しています。保護者と引継ぎや懇談も行います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	1		支援プログラムを作成する中で今までいずみ会が取り組んできた内容である事を確認しました。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1	0	0		年2回の個別懇談では支援計画に沿った見直しを行い次の計画に活かしています。個別の懇談は必要に応じて行います。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1	0	0		個々の子どもの思いや、保護者の思いや願いも大切にしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1	0	0		同じ活動でも繰り返し取り組むことも大切にしています。繰り返すことで認識できたり別の遊び方を発見できたりして自ら学ぶ姿は職員の学びにもなります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	0	0	0		近くの保育園との交流を毎年行っています。いくつかの行事に家族で参加して頂ききょうだいの交流の場にもなっています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	1	0	0		入園の契約時に具体的な例も挙げてわかりやすい様に工夫していますが質問等後日でもよいので出してください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	0	2		毎週木曜日に親子保育を実施。6〜7組の親子集団の中で子どもの向き合い方を学んだり保護者同士の交流の場を提供しています。学習会や懇談会、茶話会も行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	1	0	0		登降園時には一人ひとりと引継ぎを行い状況を共有しています。連絡帳も利用しています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	0	0		年間を通して個別の懇談や保育参観を受け付けます。気軽に声をかけて下さい。園児・保護者。家族の思いに耳を傾け一緒に考え喜び合いたいと思っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						児の思いや行動、保護者の思い等に、まず共感する事を大切にしています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	13	0	0	0	・保護者参加の行事が多くて負担だった。	保護者と共に子どもの発達・成長に関わる事を大切にしています。参加が難しい時は相談してください。子を真ん中に大人が手をつないで見守れるような関わりを築きたいと思っています。保護者会の活動にも取り組んでいます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	1	0		・リハビリの連絡帳の記載をお願いしたら最初はOKと言われたが、いざ持っていくと断られ言っていることが違って残念でした。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1	0	0		個々の子どもの言葉にできない思いも尊重して関わっています双方が子持ち良く関わることが大切だと思っています。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	0	0		園だより「大きくなあれ」を毎月発行して活動の状況や予定等をお知らせしています。自己評価も園内掲示とHP公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	0	0		今後も十分に気を付けていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	0	2		「安全計画」「事故を防ぐための注意事項」も作成しました。掲示します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	1		火災・地震・水害訓練を年2回実施。外部に依頼して消火・通報訓練、救命救急の訓練を実施しました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						園内に掲示。保護者に声をかけて確認。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						契約時に説明をしている。緊急時は対応マニュアルに沿いつつ対応。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						子どもが楽しみに利用でき、保護者も安心して預けられることを大切にしています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	2	0	0	いつも笑顔で戻ってくる（帰り）姿を見て楽しく過ごせるんだなと実感しています。	友だちと一緒に過ごすことは子どもにとって心も体も豊に成長発達できる環境だと思います。人と関わり遊ぶ楽しさを全身で感じて欲しいと願っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	2	0	・蚊が多すぎるのでもっと対策をしてもらいたい。 ・先生たちが皆温かく我が子をそのまま受け入れて下さるので、とても感謝しています。	築いたことは日頃から伝えていただき、より良い環境に努めます。安心して預け楽しく過ごせる居場所になれるようにこれからも努めていきます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	いずみ園
------	------

公表日 2025 年 1 月 14 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	遊び・食事等活動に合わせて仕切り戸を開閉している。 人数が多い時はグループ分けをしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	子ども2に対して保育士1の手厚い配置。必要に応じて1対1の配置を行っている。 急な職員の休みに対して“どう対応するのがベストか”をみんなで考え合っている。	児の意欲や主体性を尊重する事。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	適度なバリアフリー化になっている。 遊び・食事・午睡の部屋を分けている。 可動式の用具で分かりやすくしている。	職員間での情報の伝達。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	おもちゃボックスを新しく設置したことで意欲的に遊びを選択している。 毎日清掃や消毒を行っている。	雑巾がけも子どもたちと一緒に年間を通して行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	いつもと違う人の多さや友だちの鳴き声が苦手な子は午睡用の部屋を解放している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	会議を行ったり支援計画ファイルをいつでも確認できるようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者からの意見等は送迎時に直接聞いたり連絡帳や懇談時など気がついた時に伝えていただけるよう工夫している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		第三者評価については検討中。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	全職員一回は研修会に参加する機会を設け、法人内での学習会も企画し参加。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		“子どもはどう思っているか、望んでいるか”を大切にしていきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	上半期・下半期に個別支援計画を全職員で共有把握し、保育療育を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	毎月、全保育者が参加する保育内容会議で活動プログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	昨年の活動を参考にしつつ今年度の子どものニーズに合わせた計画をたてる。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	終了後の打ち合わせがやりきれない時は翌日の朝会に行う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	毎日個々の担当職員が記録を行ない、課題や確認事項は毎朝の朝会で情報交換や共有を行い検証し・改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児発官もしくは児の担当職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	月一回、地域の保育園と交流保育を行いお互いの園を歩き来したり公園で遊びを共にしたりし交流を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	就学児、並行通園児を中心に見学や懇談等に積極的に取り組んでいる。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			同法人のセンターとの連携。	地域のセンターとの連携。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	運動会、夏祭り、もちつき会の行事は家族参加で交流を図っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	毎日の送迎時や個別の懇談等で状況や課題などを共有している。	全職員での共有。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	毎週木曜日に行う親子保育の中で実施。保育参観は保護者の都合の良い時に実施。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		より細やかで丁寧な対応を目指す。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		子ども自身の意向・思いを伝え理解し合うには、どう伝えたらよいか。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	学期ごとの懇談会では集団で行い、個別の懇談もやっている。	園児1人に対し保護者と月に1回以上の懇談を目指す。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	きょうだいの交流は年3回の行事には家族参加でお誘いしている。 友だちとの関わり親子での関わりも大切にしている。 保護者役員が楽しく活動できるよう支援。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		より一層配慮していく必要があるので努力する。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	野良猫対策に協力したり、焼き芋会やもちつき会のおすそ分けをしたりしている。 近所を散歩する時は挨拶や声をかけている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		防犯マニュアルの作成
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	年度初め・途中入園時に確認。 服薬については日中必要な時は「与薬表」に記入。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	年度初めに職員間で確認。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	園内掲示を行ったり年度の初めに伝える。	途中入園時にも伝えていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	保育に行き詰まった時は助けを求めよう職員間で確認している。逆に声をかける。虐待に関しての学習会を年に一回必ず開催している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	個別支援計画に記載し保護者に丁寧に説明。		